

岸田政権
大軍拡

敵基地攻撃能力保有で、米国の戦争が
日本への報復を招く可能性
「大規模被害も」(浜田防衛相・衆院予算委)

物価高騰
高齢者には
年金削減

大軍拡・大増税ストップ

4月23日町議選

岸田自公政権に矢巾から平和の願い示す選挙



他国への脅威となる軍拡は緊張激化の道
必要なのは徹底した外交

現にある「平和の枠組み」強化

- 米・中も参加している「東アジアサミット」を生かして「敵対」でなく「協力」の関係に

国は軍事費の倍増より

もっと物価高騰対策を

中小企業を支援して

最低賃金時給1500円に賃上げを

- 男女賃金格差の是正、非正規雇用の待遇改善を

消費税5%へ緊急減税

- 物価上昇にみあう年金引き上げを
- 自営業者を廃業に追い込むインボイス中止

地域からくらし守る

- 子育て支援を強めます
- 高齢者福祉を強めます
- 若者の就労支援、待遇改善を
- 国保税・水道料金の引き下げを
- 農業を守り、循環型社会を
- 商工業を守り、発展させます

日本共産党 矢巾町議会議員

小川ふみこ

略歴

●1952年生まれ。●岩手大学農学部獣医学科卒業。同大学院修士課程修了。獣医師。
●久慈市農業共済組合家畜診療所勤務、89年矢巾町に小川動物病院を開業。●2007年
矢巾町議選初当選。町議4期。

矢巾民報

2023年春号外 日本共産党の政策・活動などを紹介します
日本共産党矢巾町委員会 019-656-9881

日本共産党

町民の願いで町政を動かす 日本共産党の2議席

提案。困っている人に寄りそい
願いを議会に届け、実現へとことん

- 第3子以降学校給食費ゼロ、第2子以降保育料ゼロ、子ども医療費助成18才までに、など、子育て支援を前進させました。
- コロナ対策として、非課税世帯支援や福祉灯油助成を実現。
- 物価対策として、畜産農家への助成実現。農業支援を個人農家にも対象拡大。
- 保育士の奨学金返済補助を実現。



町民から寄せられた要望を68項目にまとめた要望書を町に提出する川村、小川両町議と木村ゆたか氏。

防波堤。町民運動と力合わせ
国が押しつけるひどい政治から町民を守る

スーパーシティ国家戦略特区のまちづくりを中止に

町民の個人情報が大企業に提供し、監視社会につながるおそれのある国の構想。これに応募した町が町民への説明を怠っていることを取り上げ、また、この計画の危険性を繰り返し告発し、町民のみなさんの運動と力を合わせたことが、再応募中止につながりました。



スーパーシティを考える会
畠山文裕さん

住民同士で監視させあうことで国民を戦争に導いたかつての「隣組」に通じる企てでした。戦争国家に逆戻りしているかのような今、矢巾町民がこうした動きを毅然と否定したことは大きな意味があります。この運動を議会の中でも外でも支えてくれた共産党の議員は大変心強いもので、今後も期待します。

チェック。住民の目線で
町政のゆがみをたどす

- 矢巾中学校跡地を売却して住宅地とする計画を中止させ、町民のための施設として残させました。
- 環境問題になっていた雪捨て場(矢巾3区南公園)を広宮沢地区へ移転させました。

民主的な党運営を力に政治・社会を変える党

日本共産党の規約は「意見の違いで排除してはならない」「党内で、質問し意見をのべ回答を求めることができる」と党内で異なる意見を表明する権利を保障しています。2020年の党大会では、同性愛を否定する過去の見解の誤りを認め、党が自己改革の努力を重ねることを確認しました。全党討論のなかで出された指摘にこたえたものですが、一つひとつの意見を吟味して方針を決めていることの一例です。

規約は同時に「党の決定に反する意見を勝手に発表することはしない」「決定されたことは、みんなでその実行にあたる」としています。これは、国民にたいして党の立場を鮮明にする責任を果たすとともに、みんなの力がバラバラにされることを避けるためのものです。

「戦争国家」へと突き進むような勢力からの妨害や抵抗にさらされても、反戦・平和を掲げ、市民と野党の共闘を貫くことができるのは、民主的な議論をつくすこととみんなで実行することとを大事にしているからです。



とにかく値上がりが大きく家計に響いています。電気、ガス、水道も高いです。(30代女性)



在宅介護できるのが一番望ましいが、限界はある。施設に入れると思っても入所費用が高い、いつ入れるか分からない(順番待ち)等の問題がある。高齢化社会の現代、“福祉”に期待します。(50代女性)

日本共産党町民アンケートより



物価上昇に伴う生活負担の増加。若者の負担増→若年者は未来に希望がない印象。お金がなければ子育ては無理。(30代男性)



年金だけの生活ですので、主に食品や電気料金の負担が増加し、更に医療費や税金が増加して年金収入以上の費用増加することは退職後経験したことが無いので、大変不安です。(70歳以上男性)

物価高騰の今こそ

子育て・仕事・老後に希望を

物価高騰から暮らしを守る

- 水道料金値下げを
5年連続で県下の利益率。引き下げは可能!
- 低所得者、ひとり親世帯への継続的支援を
農業・畜産の
- 飼料、生産資材の高騰分の補助を
- 若者の就労支援、非正規雇用の待遇改善を

子育て支援3つのゼロ

- 医療費をゼロに
18才までの窓口負担ゼロが実現。今後は一部負担(入院2,500円、通院等750円)もゼロをめざします。
- 保育料をゼロに
第2子以降無償を実現した力で
- 学校給食費をゼロに
全国でも広がる無償化
まずは全児童・生徒への半額助成を



国民健康保険税の引き下げ

- 1人当たり95,900円は県内3番目の高さ
- 1世帯あたり1万円引き下げを
 - 子どもの均等割(1人あたり36,500円)の免除を

※後期高齢者医療制度支援分含め

アンケートの声にこたえて

日本共産党

小川ふみこは やります

保護ネコと一緒に

お年寄りが安心して暮らせる町に

- 入所待機者の早期解消めざし
- 年金でも入れる特養ホームの増床を
 - 軽度難聴者の補聴器購入に支援を
 - 介護保険料・利用料の軽減を



農業者・商工業者の経営を支える

- 生産費を補う米価補償を
- 水田活用直接支払交付金の見直し中止を
- 農業者・商工業者を倒産させないための支援強化を
- 住宅リフォーム助成の復活を

- デマンドタクシーの改善、高齢者・妊産婦へのタクシー券の補助創設と拡充を
- 矢巾・高田町営住宅の補修と、若者が定住できる安価な町営住宅を
- 気候危機打開。県央ブロックごみ処理広域化計画の見直し求め、大規模焼却ありきでなく、ごみの減量・資源化で循環型社会の形成めざす
- ジェンダー平等。会計年度任用職員(女性が86%)など、非正規町職員の最低賃金は町の責任で時給1500円に。選択的夫婦別姓制度の導入を。

